

令和3年竹田市教育委員会第12回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和3年12月6日（月）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1 番委員 賀籠六尚樹
2 番委員 甲高 幸一
3 番委員（教育長職務代理者） 佐藤 恵
4 番委員 吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 後藤 惟稔
学校教育課長 渡邊 早苗
生涯学習課長 工藤 直樹
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 後藤 一郎
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課参事 大塚 聡子
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第11回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
(4) 報告事項 報告第12号 竹田市立直入幼稚園の今後について
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(7) 連絡事項
(1) 12月幼・小・中行事予定表
(2) 12月教育委員会関係日程（予定）
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時]

- 後藤教育総務課長 それでは、委員の出席状況の報告をさせていただきます。教育長、委員4名、欠席0名、傍聴者0名。地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条に基づき本委員会が成立していることを報告します。
- 志賀教育長 皆さんこんにちは。昨日、竹田市駅伝競走大会がありました。第75回を数えます。今年、つくづく思いますのは、声楽コンクールとか瀧音楽祭、田能村竹田美術祭等が全て70回を超えていて、歴史とか地域の力とか、そういったものが非常に大きなものであったということです。市駅伝には、小さい地域でも複数チームを出したりして、非常に素晴らしいと思っています。それでは、ただいまから第12回定例会を開会します。第11回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等ありますか。では、会議録を承認願えますか。
- 委員 (「はい。」の声。)
- 志賀教育長 では、会議録に署名をお願いします。
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 後藤教育総務課長 はい。それでは前回の定例会から今回の定例会までの教育長の報告をいたします。11月5日、大分県中学駅伝競走大会、教育委員会第11回定例会、荻町子ども神楽クラブ受賞報告、9日、菅生小学校今後の在り方について(保護者全員協議会)、11日、第16回市長杯争奪ゲートボール大会、豊岡小郷土学研究発表会、豊岡小保護者学習会、12日、第14回大分県中学校総合文化祭竹田大会、15日、第2回管内教育長会議、直入幼稚園今後の在り方について、16日、白丹小郷土学研究発表会、18日、第10回校長・所長会議、24日、文化財関係国会議員陳情活動、26日、定例会長会議、久住中今後の在り方について、27日、豊肥地区開放文化祭、29日、第2回部活動あり方検討会、第2回学校給食運営審議会、30日、竹田市教育支援委員会、令和3年度竹田市人権啓発推進講演会、12月4日第17回歳末助け合いチャリティショー、少年少女駅伝ロードレース大会、5日、竹田市駅伝競走大会、6日、教育委員会第12回定例会、以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。はい、甲高委員。
- 甲高委員 はい。11月11日に豊岡小学校保護者学習会が行われておりますが、内容を軽くお願いしたいと思います。
- 志賀教育長 教育総務課長。
- 後藤教育総務課長 はい。豊岡小学校の保護者学習会というのは、今竹田市内の小中で6つの学校について、今後のあり方の説明会を行っていますが、豊岡小の中でも統合について考えるというアンケートを保護者独自で行ってその集計ができたということで、豊岡小学校にもそういった話し合いの内容を教えてくれないか、一緒に学習会をしてくれないかという保護者主催の学習会であります。そこで教育委員会が出向きまして、今他の学校で行っている説明会の内容について説明して、一緒に意見交換をしたところでございます。以上です。

志賀教育長	よろしいでしょうか。甲高委員
甲高委員	質問はどのような内容がありましたか。
志賀教育長	教育総務課長。
後藤教育総務課長	はい。「どういったタイミングであれば統合という話になるのか」、「もし統合になった場合、通学方法はどのようなふうになるのか」そして「豊岡小学校の立地」について、そういったところの意見が出されました。以上です。
志賀教育長	はい。よろしいですか。他に質疑ありませんか。吉野委員。
吉野委員	11月29日月曜日の部活動のあり方検討会と、学校給食運営審議会というのはどういう内容か教えていただきたいと思います。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。部活動のあり方検討会は、中学校6校の校長と体育の教員である中体連の理事、そして学校教育課で組織して、これまでも活動のあり方を検討してきました。そして、今回は、令和5年度から地域への段階的な移行に向けて、どういう組織を作って検討していくかというようなことを協議した次第です。その中身としましては、令和5年度からの段階的な移行に向けて、来年度から竹田市立中学校部活動検討委員会を組織していこうというところまで決まった次第でございます。以上です。
志賀教育長	もう1点の質問については、給食調理場長。
後藤給食調理場長	11月29日の学校給食運営審議会ですが、当日は9名中6名の委員さんがお集まりいただきまして審議をいただきました。内容としましては、学校給食費の統一の関係、それから直入調理場の統合の関係の2件についてご審議をいただきました。経過として、今度12月議会を迎えますので、その前に7月の第1回審議会開催以降の経過を説明させていただいたところでございます。委員の皆さんからはご意見というものは特にございませんでした。以上です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。その他ありますか。無いようですので、次に移りますが、11月11日の市長杯ゲートボール大会の場所が総合運動公園であります。訂正をお願いします。本日の審議事項はありません。報告事項です。報告第12号竹田市立直入幼稚園の今後についてです。教育総務課長説明をお願いします。
後藤教育総務課長	はい。報告第12号竹田市立直入幼稚園の今後についてということで、教育長日程の中で、15日に直入幼稚園の今後のあり方説明会をしたとお伝えをしております。これは11月1日に説明をして、それで持ち帰ったことに対してもう一度15日に協議したと。保護者そして5歳以下の保護者の方にお集まりいただきまして、協議をした内容でございます。それをもとに市長、副市長と教育委員会でも最終的に協議したことについて、まずもって報告をさせていただきたいという

ことで報告第12号に今回あげております。当初は令和3年度、本年度をもって閉園するというので、6月の教育委員会の中でお示しをさせていただきましたけれども、変更がございます。①から⑤とあります。①令和4年度の入園児を募集する。つまり来年度の園児を募集するというふうになってきております。ただし、入園志願者数と在園予定者数との合計が5人未満となる場合は、令和3年度末、来年の3月31日をもって閉園する。これは運営規則に載っている、5人未満となったときは閉園というところに準じております。竹田幼稚園、南部幼稚園については、5歳児のみの運営であります。直入幼稚園だけは年長者そして年少者合わせて5人とすることを、平成26年9月に改正をしておりますので、それに則って5人未満となれば閉園するということです。②閉園の決定は令和4年1月7日金曜日17時時点の応募人数によるものとする。この5人未満になるかならないかというところの決定は、12月1日から明けて1月7日までが募集期間としておりますので、その最終日をもって決定するということでございます。③令和5年度の入園児の募集は行わず、令和5年度は5歳児、令和4年度の4歳児のみで運営する。つまり、次の年はもう募集は行いません。例え来年5人以上となった場合においても、年少者が年長者に上がる、その5歳児のみで運営をしていくという説明でございます。④令和5年度末をもって閉園する。つまりその年少者は年長者になった、その最後をもって直入幼稚園は廃園する。そして閉園という場合は竹田幼稚園に統合するという意味の閉園であるということでもあります。この①から⑤までを今回報告させていただきました。以上です。

志賀教育長

ただいまの報告に対して質疑等ありませんか。佐藤委員。

佐藤委員

先月の定例会で、幼稚園の魅力などのPRも含めてということで、今月の回覧版には、募集の用紙が入っていたのを見ました。募集が12月1日から1月7日の5時の時点ということは、来年の第1回の定例会で、どういう方向になるか報告ができる状態になるということでしょうか。

志賀教育長

はい。そうですね。来年の1月7日の週の開けた最初の日が定例会でありますので、そこで報告ができるということでございます。

志賀教育長

はい。他にありませんか。吉野委員。

吉野委員

質問というわけではないですけども、私もこの直入幼稚園の今後について、話し合いの場に参加させていただいた中で、保護者の方より現時点でも意見が寄せられておりますので、ちょっとお話をさせていただきます。現在の在園児については卒園まで見ていただけということ、それから、この冬の募集で応募するつもりだった子供さんの家庭についても、条件を満たせば2年間通えるということにさせていただいてひとまず安心したという感想を伺っております。しかしながら、町内にゆくゆく民間の保育施設だけになってしまうということで、公立の幼児教育を希望する方に、その機会が与えてもらえるかどうかという不安が残ったということで、直入幼稚園が閉園になった場合は、竹田幼稚園に統合していただけるということで、5歳児になった1年間で、希望する家庭には公立の幼児教育が受けられるというふうにしていただいたことに関しては、感謝申し上げますという声をいただいております。でも、できれば、希望する

人が少しでもいる限りはなるべくなら公立の教育を受けさせてあげたかったという願いがまだ全く消えたわけではないということを、ぜひ伝えて欲しいというふうに伺っておりますので申し上げます。ありがとうございます。

志賀教育長

現在の声だそうです。前回の話し合いから、今日に至るまでの声だということので承りたいと思います。はいどうぞ。

吉野委員

また目まぐるしく環境が変わる時代でもありますので、今後また現状とは違う、幼児教育のあり方がこう、再び検討されて必要だと思われたときには、ぜひ大胆になろうかと思えますけども、幼児教育の施設や保育施設に関しても、再考いただきたいという願いも込めて。以上です。すみません、ありがとうございました。

志賀教育長

ご意見として伺いたいと思います。その他にありませんでしょうか。甲高委員。

甲高委員

閉園となった場合、今後、他の学校と同じように検討委員会とかに進んでいって、通学の方法とか、そういうのも内容話していくってということになりますか。もし竹田幼稚園の方に通うという子がいた場合、そういうふうになっていきますか。

志賀教育長

教育総務課長。

後藤教育総務課長

例えば今回、募集をして5人を満たしたということであれば、令和5年度までは開くわけですが、次の令和6年度、令和6年の4月以降に園児が、直入のお子さんが竹田幼稚園に行きたいということになったときは、その時に、その通うお子さんがどこに住んでいるかということによって送迎の形が変わってくると思いますので、その入園説明会か何かのときにそういった説明をして、どこを拠点にするのか、その家に行くのか等を、説明をしてご理解をいただくような形になると思います。

志賀教育長

はい。その他にありますでしょうか。無いようですので、報告第12号を承認してよろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声。)

志賀教育長

承認されました。次に移ります。連絡事項について、教育総務課長説明をお願いします。

後藤教育総務課長

はい。連絡事項です。2ページをお開きください。まずは、12月の幼小中の行事予定でございます。12月1日、持久走大会、白丹小。校内ロードレース大会、久住小。2日、持久走大会、南部小・菅生小・荻小。子ども神楽発表会、荻小。避難訓練、都野中。3日、持久走大会、祖峰小。認知症キッズサポーター養成講座、菅生小。4日、竹田市少年少女ロードレース大会。5日、強歩大会、竹田中・竹田南部中。6日、久住中学校体験入学。7日、避難訓練、祖峰小。ブラインドサッカー体験、都野小4・5年。8日、平和集会、菅生小5・6年・都野小・久

住中。9日、修学旅行、竹田南部中。郷土学習、祖峰小3年。花植え出前授業、久住高原農業高校が白丹小で行われます。10日、1泊2日の竹田南部中の修学旅行。竹田中学校体験入学。給食センター見学、竹田小1年。11日、校内クロスカントリー大会、緑ヶ丘中。校内ロードレース大会、久住中。強歩大会、直入中。12日、修学旅行、竹田中2年。16日、幼稚園発表会。平和集会、久住小。17日、WAZAチャレンジ教室、白丹小。19日、1泊2日で修学旅行、緑ヶ丘中・久住中・都野中・直入中。21日、大分三好ヴァイセアドラー学校訪問、白丹小。避難訓練、都野小。タグラグビー体験、竹田幼。22日、チャンプ本決定戦、豊岡小。避難訓練、久住中・竹田幼。幼稚園公開日、令和4年度入園該当家庭のみ。23日、もちつき大会、白丹小。クリスマス会、直入幼。24日、終業式。競歩大会、都野中。1月11日始業式です。次に(2)の12月教育委員会関係日程です。3ページです。12月3日、竹田市議会第4回定例会本会議。4日、第48回竹田市少年少女駅伝競走ロードレース大会、第17回歳末助け合いチャリティショー、5日第75回竹田市駅伝競走大会。6日、竹田市教育委員会第12回定例会。7日、岡城調査整備委員会。8日、11回校長・所長会議。9日、市議会一般質問13日まで。15日、本会議予算特別委員会、納池公園調査委員会。18日、久住クリスマスコンサート、瀧廉太郎会クリスマスの夕べ。21日、議会社会文教常任委員会。23日、市議会本会議、第4回竹田市行財政改革推進本部会議。24日、定例課長会議。28日、仕事納め式。29日からは年末休暇です。(3)今後の主な予定です。①令和4年新年互例会、日時1月7日、11時から12時まで、場所はグランツたけた廉太郎ホール、後日、総務課から案内予定で飲食の提供はありません。②令和4年竹田市成人式、日時は1月9日、13時から場所はグランツたけた、後日、生涯学習課からご案内予定です。③教育委員会第1回定例会、1月11日(火)15時から、場所は市役所本庁2階庁議室。④教育委員会第2回、定例会2月7日(月)15時から、場所は本庁2階庁議室で行います。以上です。以上でございます。

志賀教育長

質疑等ありませんか。生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

2番の竹田市の成人式でございます。後日案内ということでございますけど、今、概要だけちょっと簡単に申し上げておきたいと思っております。当日については式典と成人式の実行委員会によるアトラクションということで、ビンゴゲームを行う予定になっております。当日は、主催者として、市長、副市長、教育長。来賓として、振興局長、市議会の議長、県議を壇上に上がっていただくということで、教育委員の皆様方については、客席の主催者席の方にご案内の予定でございますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

志賀教育長

質疑等ありませんか。連絡事項についてはよろしいでしょうか。それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

後藤教育総務課長

いつもと同じですけれども、学校の今後のあり方については、12月あと少しありますけれども、積極的に学校に入っていきたいというふうに思っていますし、地域との調整を今していますので、地域の中に入ることができればなというところで調整をさせていただいています。年が明けても同じく、説明を続けていきたいと思っておりますのでご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

志賀教育長

続いて、渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課から3点報告します。まず、小中学校の取組についてです。先月は、大分県中学校総合文化祭や各種学校行事にご参加いただき大変ありがとうございました。私は、先月、大分県教育庁竹田教育事務所の学校訪問に同行し、各学校の授業改善、学力向上、人間関係づくり、働き方改革、地域連携等を確認してきました。それぞれの学校が、課題に対する取組に臨んでおりました。特に学力向上においては、12月14日に小学校4（3教科）、5、6年生（4教科）、16日に中学校1、2年生（5教科）において、竹田市標準学力調査を実施し、成果と課題を把握します。結果は1月末に戻ってきますので、学び残しのないように取り組み、自信をもって新しい学年に進級できるようにしていきたいと考えます。次に、「竹田市立中学校部活動検討委員会」の設置についてです。文部科学省は、教職員の働き方改革や少子化などの観点から「運動部活動の地域移行」について、令和5年度から段階的な移行を示しています。竹田市においても、部活動のありかたについては、これまで中学校校長と体育の教員である中体連の理事、学校教育課で組織する「部活動の在り方検討会」で検討してきましたが、令和4年度からは、保護者や地域の方、有識者等を含めた「竹田市立中学校部活動検討委員会」を立ち上げ、改革に向け検討していきたいと考えます。運動部だけでなく文化部も含め、地域移行に関する中・長期的なビジョンや具体的な内容、方法について検討していきます。なお、設置要綱は、1月提案いたします。最後に、竹田市の中学校の制服の検討についてです。今年度、保護者の皆さまに統合について説明する会で、中学校の制服についてご意見をいただくことが多々ありました。また、昨今の性的少数者（LGBT）に対する社会的関心の高まりなどもあり、中学校の制服のあり方については、検討する時期にきていると考えます。文部科学省からも平成27年に性的少数者（LGBT）らに配慮するよう通知されています。そこで、制服は学校裁量で決めていくものではありますが、令和4年度から制服検討委員会を設置して、小中学生や保護者の意向を聞きながら、検討を開始したいと考えています。以上3点です。

志賀教育長

はい。工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

はい。お手元の資料で竹田市総合運動公園市民球場及び陸上競技場のネーミングライツパートナーの募集という1枚の紙と、クリップでとめた同じくネーミングライツパートナーの募集要項が、お手元にございましたらそれをご覧ください。その中で1枚紙についてはこの概要を書いております。その裏側には、先日4日に合同新聞に出していただきましたが、命名権の導入という記事のコピーをつけております。募集の目的については1枚紙の上に記載のとおりで、竹田市総合運動公園のネーミングライツ、市が所有する施設等の命名権を取得するパートナーを募集する事業です。ネーミングライツパートナーは、企業名等の愛称を表示することにより、企業等PR、市の施策への経済的な支援を通じた社会貢献ができますし、そのお金を施設の維持管理費に使用できる仕組みです。選ばれた法人と竹田市が双方WIN, WINの関係になるようにできれば、と言うものです。募集施設は竹田市総合運動公園の4施設で、市民球場、陸上競技場、テニスコート、多目的広場ということです。陸上競技場は今走路の改修を行っておりまして、3月11日の完成予定。テニスコートにつきましては、芝の張替えとLED、照明の取替をしております、これが2月28日というこ

とで、久々にその施設が生まれ変わりますので、それに合わせた形でこういった事業も取り組んでいきたいというところです。契約期間は3年で、募集金額は4施設まとめて、3年間で300万円以上で、年間で100万円以上の金額をお願いするものです。募集期間は12月1日から12月28日までです。以上がこの事業の概要ですが、この事業を実施する上で、教育委員会にお諮りしなければならない事項を申し上げたいと思います。1ページ目の下段に記載しております「竹田市ネーミングライツ実施要領の第15条に教育委員会の特例という条項がありまして、市長は、教育委員会が所管する市有施設について第9条の規定に基づき審査に付すときは、あらかじめ教育委員会に意見を聴くものとする」とあります。この実施要領は竹田市全体でネーミングライツ事業に取り組む基本方針を定めたもので、今回の竹田市総合運動公園など募集する施設ごとに募集要項を定めるようになっておりまして、今回の事業は竹田市で初めての事業となります。募集要項の5ページ目をお開きください。その中の15、中段のところですが、ネーミングライツの開始までのスケジュールを書いております。12月1日から12月28日まで募集期間ということで、受付けも同じでございます。この中に、教育委員会の部分は記載をされておられませんけど、12月28日に締め切りを受けまして、1月11日開催予定の教育委員会に、28日で締め切った応募者をお示ししてご意見を伺う予定ですので、その時はよろしく願いいたします。その後選定委員会ということで、有識者を含む選定委員会を開催いたします。4ページ中段のところに、ネーミングライツパートナーの選定方法ということであります。(2)のところに選定基準ということで応募条件、応募企業の状況、愛称ということで、これを点数化いたしまして、その選定委員会の中で協議をしていただく中で、優先交渉者を決めていくという段取りです。また表に戻っていただきまして、その選定等委員会の3番目終わりましたら、ネーミングライツのパートナー決定ということで、1月下旬までに決定を行いまして、2月にはその相手方と契約を行って、その後4月1日に開始の予定です。例えば、大洲の運動公園あたりでいきますと大きな体育館にサイクルショップこだまとかですね、野球場でいくと別大興産スタジアムとかいうことを書いていますので、その費用についてはその法人の方、決定した方に、お金を出していただいて、そこに作っていただきますので、その期間が必要ということで、2月に契約いたのちそういった作業を行う予定をしております。以上で概要を説明いたしました。1月11日は何社かそろった形で教育委員会が迎えられように、応募の手段としては、新聞等、ホームページ、ケーブルテレビあたりをお願いをしております。各種法人、団体の方に声掛けを行う中で何社か集まった形で教育委員会を迎えられればなと思っておりますので12月いっぱい頑張っていきたいなよ思っております。以上です。

志賀教育長

続いて古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長
志賀教育長

はい。私の方からは今月は特段ございません。

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい。歴史文化館では、お手元にチラシを配らせていただきましたが、12月18日から2月6日まで企画展「Let's タイムトラベル ～絵葉書でたどる明治から昭和初期の竹田～」展を開催します。本格的に交通手段が整備され利便

性がよくなった大正から昭和初期にかけて、手軽に小旅行を楽しめる旅行ブームが生まれました。「絵葉書」は、カメラが高価で気軽に写真を撮ることができなかった時代、旅行先の思い出を持って帰るのに最適な「おみやげ品」でした。役場をはじめとし、「絵葉書」を通じて多くの観光客誘致を図ろうと取り組み、「絵葉書」の種類も増えていきました。当時の竹田を訪れた人々は、何を見て、どう感じて、どのような旅をしていたのでしょうか？ 今回の企画展は「絵葉書」や地図などを通して大正・昭和初期の「竹田」を紹介します。当時の雰囲気によりじっくり浸りながら観て、体感していただければと思っております。よろしくお願いたします。

志賀教育長

後藤給食調理場長

後藤給食調理場長

特にございません。

志賀教育長

では、図書館。

後藤教育総務課長

はい。特にございません。

志賀教育長

では、ただいま各課からの連絡に意見、質問等ありませんか。はい、甲高委員。

甲高委員

はい。竹田市総合運動公園のネーミングライツパートナー非常にいいことだと思います。ありがとうございます。新聞でも大きく取り上げられておりましたが、何か問い合わせはすでにあっていますか。

工藤生涯学習課長

直接うちにはないですが、それぞれのところから何件か、今のところお伺いをしてるところもあります。

甲高委員

是非やっていただいて、1月を迎えられればいいなあと思いますけど。お願いします。

志賀教育長

他にありますか。では最後に、教育委員から意見、感想等があればお願いします。賀籠六委員からお願いします。

賀籠六委員

はい。先日、大分県中学校総合文化祭竹田大会を見に行かせていただきました。子供たちの他校の合唱やダンスなどの発表、また竹田の子供たちの都野中の神楽など、子供たちが本当に生き生きと元気に発表している姿にとっても感動しました。また、先ほど学校教育課長の方から制服の話がありました。少し前になりますがこの会で制服について検討していただきたいと話をしたことが、少しずつ動いてきて、来年度から検討していただけるということですね。今後、見守っていきたいと思います。

志賀教育長

甲高委員お願いします。

甲高委員

私の方からは感想とお礼だけお話をしたいと思います。まず先日竹楽では、竹田小学校、豊岡小学校の児童や先生方が地域との交流ということで竹楽に協力いただいております。竹楽はボランティアがいなくて出来ないイベントで、

大きな力となっています。今後ともぜひ協力をお願いしたいということと、協力に対するお礼を皆さんに申し上げたいと思います。ありがとうございます。また、先ほど教育長からも話がありましたが、先日14日には少年少女ロードレース大会、そして5日には竹田市駅伝競走大会とありました。ロードレース大会では、途中で歩き出す子ことかがいるんですが、どうしても最後までフィニッシュを迎えたいという非常に頑張る姿も見掛けられました。で、私受け付けをしていたんですが、みんな大きな声でしっかり返事もできておまして、きつかったっていう子もいたんですが、終わった後の、やはりスポーツイベントがいいなあというのが正直な話で、非常に頑張っている姿を見せていただきました。ありがとうございます。竹楽の話にもう一回戻りますが、歴史文化館の佐藤館長や職員の方に協力いただきまして、私がお世話させていただいている大分県立芸術文化短期大学の学生を歴史文化館にご案内をいたしました。学生に映像を見ていただいたんですが、感想が岡城に行きたいと。岡城に行きたくなるような内容で、自分たち若い世代にも受け入れられる内容であったということで、非常に喜んでおりました。協力いただいた館の皆様にお礼を言うておいてくださいということで聞いておりますので、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。以上です。

志賀教育長

はい。佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

私からは報告です。11月22日に竹田市共同募金委員会第2回審査委員会に出席してきました。会議では、令和3年度歳末助け合い募金についての報告と、配分についての承認がありましたが、今年度の配分については、年末年始の高齢者の支援に対して3団体、多世代交流事業として竹田子供基金1団体、計4団体に対して配分案が示されて、それに対して承認がされました。竹田子供キッチンについては、社会福祉課の課長より補足説明があったんですが、貧困家庭の子供さんに、心と体に健やかな食を食べられるだけではなく、自分の頭で考えて料理をすることができるようになることを学ぶための支援だということで補足説明をいただきました。この子供キッチンが、たくさんの子供が参加することと、それが継続をされていくことが一番大事で、継続をされていくことで、国県からも支援を受けて、そして竹田の地域だけではなく、他の地域でも同じような活動がしていけるんじゃないかという説明を受けました。貧困家庭の問題というのは、難しいところがたくさんあると思いますが、学校生活だけではなく、いろんな方面から支援を受けられて、そして継続に繋がって、たくさんの子供たちが支援を受けられるといいなという感想を持ちました。以上です。

志賀教育長

はい。では最後に吉野委員お願いします。

吉野委員

はい。本日午前中に、社会福祉協議会の財政部会に参加してきました。竹田市内全域で子供の数が減っていく中で、市内どの地域でも、現在ある保育所や幼児教育の施設、その現状維持が難しくなることは見えてきているので、閉園しないといけなくなるようなところが出てくる中で、管轄が違うというところで、その社会福祉協議会と市の社会福祉課と教育委員会の方で、連携が取れていることが望ましいという声は今までも時々耳にしていたんですけども、そこでその協議をさせていただいているという話を聞きまして、少し安心しました。今も

最も求められていることかなと思います。どうしてもその施設の数を減らして子供を集めて育てるという発想にはなるとは思うんですけども、慎重であるべきところと、大胆になって欲しいところっていうのは、また難しいかと思うんですけど、広く他の地域の、うきはでしたか、福岡の高齢者施設と連携している保育施設の話ですとか、視察や研修があっているというふうにもお聞きしまして、将来的に竹田市に合う形で、保育や幼児教育の充実に向けて進んでいくとありがたいなと思います。その中で、小中学校の統合の問題などでも、話が突然すぎると、性急だという意見がよく上がりますが、そんなことはない何年もかけて協議してきたんだというところがなかなか届きにくいところかなと思いますので、良い方向に向かうように、社協と福祉課と教育委員会で協議しているということは、可能な限りオープンにさせていただけると、いい方向に進んでいるんだという安心感が持てるのかなと思います。そして少しでも先のことが、子育てでいっぱいいっぱい若い保護者でも想像がつくのかなと、ゆくゆくはこういうふうになるのかなという想像を働かせることだけでも安心に繋がるのかなと思うので、オープンにできるところは現状を知らせていただけたらなと思います。以上です。

志賀教育長

はい。委員の皆さんからは、ご意見であり感想、お礼、報告といったところでしたが、各課長から何かありますでしょうか。はい、学校教育課長。

渡邊学校教育課長

行事に関しまして、大変お褒めいただきありがとうございます。明後日の校長所長会議で、子供たちをねぎらうように校長たちにも伝えておきたいと思えます。本当にありがとうございます。また貧困問題については大変難しい課題ではあります。こちらができることを、就学援助の件ですとか、しっかりサポートをしていきたいと思えますが、委員がおっしゃられたように、子供が自立して、自分で考えて生活していけるような、そういう力をつけていきたいと思えました。ありがとうございます。

志賀教育長

教育総務課長。

後藤教育総務課長

はい。吉野委員からのお話の中で、保育所と幼稚園、そういったところの話だと思いますけれども、所管が保育所は社会福祉課、そして幼稚園に関しては教育委員会となりますので、当然5歳児以下の子供たちというところは変わりはないわけですから、今回も募集するにあたっては、同じカウンターのところ両方の募集のチラシを置くように、お互いの中で漏れがないようにという連携もとっておりますし、例えば直入幼稚園や社会福祉課の中の保育所のあり方についても、情報共有しながら進めているというところでございます。また、小中学校の話というのは突然だということもよく説明会の中で聞かれます。しかしながら、その話というのは、子供たちの数の減少ということで、市町村合併の前も再編について、そして合併後も再編について常にこういった話題というのは、議論をしてきたところでございます。そしていくつかのアンケートを取りながら進めてきたというところでありますので、そういったところの理解を得ながら、また今後についても説明会を進めていきたいというふうに思っています。以上です。

志賀教育長

他にありますか。幼稚園が何課で、保育所が何課であるとかいうことは、外か

ら見ますとよく分からない。市役所内部にいるからこそわかることであって、そこは教育委員会、福祉、社協等が、連携して、ご案内できるようにしなければなりません。吉野委員の言葉では、オープンにということでありましたので、どなたにでも、きちんと説明が付くようにしておかないといけないと思います。その他ないでしょうか。ありませんのでこれで定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後 3 時 50 分]